



# す 舞 る

## special support smile 舞鶴

発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」

◇ 住所：京都府舞鶴市字堀4の1（〒624-0812） ◇ 電話：0773-78-3133 ◇ FAX：78-3135

## 令和4年度 TSC 教育相談の報告

今年度も舞鶴支援学校地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」の活動に御理解と御協力をいただきありがとうございました。TSCでは、教育の相談機関として障害に起因する子どもたちの様々な困難さについてどうしたらよいのか保育所・幼稚園、学校の先生方と一緒に考え、相談支援を行ってきました。地域の新型コロナの感染状況から相談日程の変更をお願いしたこともあり、御協力いただきありがとうございました。以下、2月末現在の活動のまとめを報告します。

相談の校種別件数（181件）

就学前	小学校	中学校	高等学校	その他
10	90	16	6	59

新規教育相談主たる相談内容の件数（%）

学習	生活 コミュニケーション	研修・ 支援体制	その他
36	15	2	47

新規相談件数（120件） 相談形態は巡回教育相談が97%、来校相談が2%、電話相談が1%でした。

## 令和4年度 TSC のトピックス

京都府北部特別支援教育夏季研修講座（8/3）

特別支援教育合同研修会第1回（6/17）

特別支援教育合同研修会第2回（11/10）

地域特別支援連携協議会（6/29、1/31）

## 京都府北部特別支援教育夏季研修講座

「読むのが苦手、書くのが苦手な子どもたちの様子」～アセスメントから、具体的な支援を～

昨年度、北部の特別支援学校3校の会場をオンラインでつないで実施しました特別支援教育夏季研修講座を今年度は、中丹及び丹後地域の就学前の機関から小中高等学校等の各機関合計80カ所以上をオンラインでつないで、「読むのが苦手、書くのが苦手な子どもたちの様子」～アセスメントから、具体的な支援を～と題して山田 充先生（廿日市市教育委員会特別支援教育アドバイザー）に御講演いただきました。

「一文字一文字は読めるけれど文章をまとまりとして読めないのはなぜ？」、「漢字の覚え方は？」など、子どもたちがどんな所につまずいているのかを明らかにし、適切な支援につなげていくための誤り分析などについて学ぶことができました。

参加者は就学前機関から高等学校、福祉機関の方々など広範囲にわたり、約300名の参加を得て実施することができました。「科学的根拠に基づいたアセスメントの大切さがよく分かりました。目前の子どもが何に対してどのように困っているのかという視点をもって今後接していこうと思います。」等の感想をいただき、現場で子どもたちの指導に向き合っておられる先生方のニーズの強さを感じる研修会でした。

今後も現場のニーズに応え、指導に役立つ研修会を企画していきます。



## 特別支援教育合同研修会

特別支援教育合同研修会は、毎年、舞鶴市教育委員会、舞鶴市健康子ども部子ども総合対策室幼稚園・保育所課、舞鶴支援学校の3者が共催し、就学前から、高校、関係機関の方など各機関で子どもたちの支援の中核となっておられる先生方を対象として、年2回実施しています。新型コロナの感染予防をしながら、今年度は集合型で開催しました。

今年度のテーマは「適切なアセスメントから支援につなぐ」とし、第1回は「『外国につながる』乳幼児・児童・生徒の発達支援」と題し、同志社女子大学の塘（とも）利枝子教授に御講義いただきました。「本校にも海外から来日された家庭があります。日本語もまだまだこれからですが、母語の重要性をこの研修を受けて感じました。両親とコミュニケーションをとれることは成長に欠かせないのであせらず母語を大切にしていこうかと思いました。」等、参加者からたくさん感想をいただきました。



第2回は、「発達に特性のある子どもの保育・教育・療育で心がけること～子どもの年齢や時代によって変化すること～」と題し、当センターの谷上宏樹地域支援コーディネーターが、様々な発達段階における課題や支援の視点について講義を行いました。当日は講義だけでなく、小グループに分かれてディスカッションの時間も設定しました。「発達段階によって、子どもの特性をしっかり観察して、適切な支援ができるようにしていきたい。小学校の先生だけでなく、中学校や幼稚園、保育園の先生方と交流することができたことがよかった。」等、参加者からの感想をいただき、特性理解とその支援につながる機会となりました。今後も、就学前・小・中・高・特・関係機関の顔の見える関係を大切に、校種間連携の強化と支援力向上につながればと願っています。



## 地域特別支援連携協議会

### テーマ 「切れ目ない支援～ステージ間移行における関係機関の連携～」

地域特別支援連携協議会は、舞鶴市の特別支援教育を総合的に推進するため、教育・医療・福祉・労働等の関係部局、PTA等の関係者によって構成された会議で、年2回、実施しています。第1回協議会では、「切れ目ない支援体制整備」について中丹教育局から現状及び課題提起をいただきました。第2回協議会では、「切れ目ない支援」について京都府立舞鶴こども療育センターの四方副所長様から、医療面における移行の現状及び課題提起をいただきました。小児期医療から成人期医療への移行の際に、切れ目が生じやすいという課題があることを、事例をあげながら紹介していただきました。かかりつけ医や訪問看護といった地域医療との連携や、介護ヘルパーや入浴サービスといった社会資源の見直しなど、移行期医療の重要性について各関係機関の関係者がその課題を共有することができました。

今後も、保護者、本人のニーズに応じた切れ目ない支援を進めていけるよう、各機関との連携を強化し取り組んでいきます。

次年度も、舞鶴地域の特別支援教育の推進、ニーズに応える活動を行っていきますので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

